

研究課題名

センチネルリンパ節に転移を認め、腋窩郭清を施行した症例の検討

研究の目的と概要

本研究では、当院における cN0 から pN2 以上と診断され、治療強度に乖離が生じる可能性がある症例について検討する。

研究実施体制

実施医療機関：東京都済生会中央病院

医療機関の長：海老原 全

研究責任者：乳腺外科 佐藤 隆宣

研究の実施方法

研究実施期間：研究実施許可日～2025 年 7 月 31 日

研究対象者及びデータ収集期間：2014 年 7 月から 2023 年 12 月の間に、SLNB を実施した cTis, T1, 2 N0 乳癌患者 632 例の手術症例のデータを電子カルテより収集し、臨床的・病理学的因子を後ろ向きに検討します。

背景と実施計画の根拠

乳がん患者におけるセンチネルリンパ節生検(SLNB)は、転移がない場合に腋窩郭清を省略する標準治療として広く認識されているが、術前に cN0 と診断された症例でもリンパ節転移や pN2-3 (転移 4 個以上) の症例が一定数存在する。このような場合、腋窩郭清を省略することで転移の正確な個数が不明となり、特に術後薬物療法の適応が拡大する中で治療強度に乖離が生じることが懸念される。そこで当院における cN0 から pN2 以上と診断された症例の割合を検討する。

試料・情報の外部機関への提供

なし

参加者の権利

患者様ご自身のデータが使用される事を望まれない場合やご不明な点がございましたら、以下の担当者までお知らせください。

個人情報の取り扱い

収集されたデータは厳重に管理され、第三者に提供されることはありません。匿名化されたデータのみが研究に使用されます。

結果の公開

研究結果は、論文、学会発表を行う予定です。その際、個人を識別できる情報は一切含まれません。

問い合わせ先

研究に関する質問やオプトアウトの手続きについては、以下の連絡先までお問い合わせください。

連絡先 : 東京都済生会中央病院 乳腺外科

電話番号 : 03(3451)8211 (代表)

担当者 : 佐藤 隆宣